

閉校
記念誌

ひがし



那須烏山市立東小学校



東小学校閉校に 寄せて

那須烏山市長

大谷 範雄

那須烏山市立東小学校の閉校にあたりご挨拶を申し上げます。平成2年4月7日に東小学校が開校以来、18年間でその歴史に幕を閉じることになりました。当校の児童、保護者、地域住民他関係者の気持ちを察するとき、万感胸に迫る思いと苦渋の決断をしなければならなかった思いが交錯し、複雑な心境を禁じえません。しかしながら、東小学校魂は「新生境小学校」へと継承され、同校の教育を礎として大きく発展し、羽ばたいてほしいと懇願するところでございます。

築き上げられた伝統の中には、平成7年度「いきいき地域ぐるみ教育活動推進事業校」として県教委より指定、平成11年度には「優良学校表彰」を受け、更に「優良子ども郵便局郵政大臣表彰」を郵政省より受賞しております。そのような数多くのすばらしい学校独自の郷土教育推進のための事業を展開していただきました。また、多くの優秀なる人材を輩出され、那須烏山市の発展のため尽力され、郷土を想う心の醸成にも貢献されてまいりましたこと等、心から感謝と敬意を表する次第でございます。

さて、那須烏山市は平成17年10月1日に旧烏山町と旧南那須町が合併し、早3年目を迎えるに至りました。

平成20年度は、市政の羅針盤といえる「みんなの知恵と協働によるひかり輝くまちづくり」を基本理念とした総合計画がスタートします。なかでも教育施策は、少子化対策の一環として力をいれています。若い世代の定住を進める上で、教育向上は欠かせないからです。まずは、幼児教育、義務教育の高度化に向けて、市独自の政策を進めています。その一環が学力向上対策としてのサタデースクールや外国語教育や郷土教育の推進です。

そして、家庭教育も大切な分野です。「衣食足りて礼節を知る」という言葉があります。礼節や道徳が古くから尊重されてきた日本人の心です。それを取り戻すためには、家庭教育を重視することがなにより必要です。

わが郷土は、緑の山々、清らかな河川、肥沃な大地、豊かな自然環境に恵まれた歴史と文化が息づく「活力とやすらぎの文化交流都市」です。

環境保全対策は、当市の誇りでもある豊かな自然環境を保護するためにも欠かせません。従いまして、子どもたちが自然に関心を持ち、自然を守る活動につなげていける教育にも力を入れます。

最後に、閉校となります東小学校に別れを告げ、「新生境小学校」のご隆盛並びに大木須、小木須、横枕地区のご繁栄を心から祈念いたしまして閉校にあたりましてご挨拶いたします。



東小学校の閉校に 寄せて

那須烏山市教育委員会教育長

池澤 進

平成2年創設の東小学校が18年の歴史の幕を閉じようとしています。時代の趨勢とは申せ、長らく教育に携わる者として感慨を覚えるとともに、市教育行政の責任者として本校の教育を新生「境小学校」に継承し、育むべき責務を痛感しております。

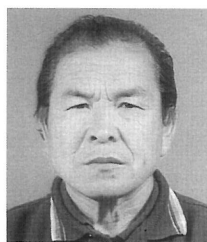
大木須・小木須小学校の統合で誕生した本校は、大木須・小木須・横枕の中核、行人塚峠の頂きに木の香り豊かな学舎を築き、地域と共に歩んできました。文部省指定「勤労生産学習」、県指定「地域ぐるみ教育」、「大むらさきの里」でのそばづくり・食育等々、当地ならではの地域一体の教育はソフトボール・野球の活躍など数々の実績に結実を見ます。小規模校ながら親密な地域で、他人を信じ思いやる温かい心・助け合い励ましあう心、生涯に渡り生きる力を培った卒業生229名の、素直で明るく何事にも一所懸命に取り組む姿勢は、この地と本校の教育が育んだ賜物です。

近年の少子高齢化は著しく、児童数は私たちの想像を遥かに上回る速度で急減しています。本校も開校時94人・6学級の児童が、今や35人・4学級、複式学級編成を余儀なくされています。教育活動を阻害される有事に対し、市は本校と境小学校を統合する苦渋の案を提示しました。愛着深い本校の、余りに短い閉幕は地域にとって断腸の思いです。しかし、本校の保護者・地域住民は、新生「境小学校」創設を英断なさいました。皆さんの前向きで遅しく、おおらかな思慮に、心より敬意を表します。

やむない閉校に惜別の念は消えませんが、その歴史・伝統は、新たな境地区のシンボル「境小学校」で一層醸成されることと確信いたします。

結びに、今日までの間、本校を支えて下さった関係者の皆様に深く感謝申し上げ、また、今後の境小学校へのご支援をお願いするとともに、さらなる境地区・東地区の発展を祈念申し上げ、寄稿とさせていただきます。





東小学校閉校に 寄せて

大木須代表自治会長
堀 江 保 夫

本校はバブル末期の1990年に建てられ、烏山町立大木須小学校と烏山町立小木須小学校が統合、地元住民、並びに関係各位の期待を担いスタートを切りました。しかし、少子化による児童数の減少には歯止めがかからず、開校してから、わずか18年を経て閉校の幕を下ろすことになったわけです。「教育の殿堂」から児童が消えてゆく淋しさは、私だけではないと思います。子供達に明日の夢を託し、地域発展の為地道な努力をされた、諸先生、PTA、関係機関の皆様へ心から敬意を表します。

平成20年4月1日からは旧境小学校と統合、新生「境小学校」としてスタートを切ります。児童の皆さんは次世代を担う、かけがえのない大事な「国の宝」です。何事も目標を持ち、東小学校にて学ばれた、貴重な体験を忘れることなく、二度と帰らぬ学校生活、これからの学習活動、スポーツにチャレンジ精神を発揮され、大いに頑張ってくださいと思います。



東小学校の閉校に 寄せて

横枕自治会長
澤 村 豊 純

春が訪れると小鳥のさえずりが聞こえ、緑豊かで静かな環境の地にある、木の香りが漂う東小学校が平成20年3月31日を以て閉校することになりました。当時、この地に建設することを反対する声が数多く寄せられましたが、こんなに早く閉校になることを誰が予期したのでしょうか。

顧みますと旧小木須小学校と大木須小学校を含めて多くの有為な人材を育て、卒業生を輩出し、多くの方が各方面でご活躍されております。時代の趨勢とは申せ、近



地域の情熱で 閉校を光に!!

小木須行政区長
皆 川 豊

大木須小、小木須小が統合し、地域住民の悲願の東小学校が誕生し18年。今閉校を迎える事になり淋しい思いです。東小学校の誕生には、場所の選定、山の造成(地権者の協力)、住民の融和を進める為、先輩達の情熱が注がれ幾多の困難を乗り越えて開校しました。

18年間の学校の歴史には、地域と密着した数々の活動が、子供達を中心に行われました。

さて少子化で、保育園休園、東小学校閉校と地域の火が消える中、脈々と来た木須川の伝統、卒業生の活躍を、いつまでも子供達に伝えと共に、地域住民が一体となり、木須川の流れに希望を抱く為、又立派な施設を再生かせるよう、地域の情熱で閉校を出発点とし、光に変えようではありませんか。

皆様方の健康と地域の発展を祈念し、閉校に贈る私の寄稿と致します。



年の少子高齢化に伴い児童数の激減により複式学級を余儀なくされ、愛着のある学校がなくなることは地域住民はもとより在校生・卒業生にとりまして寂しさと惜別の念が消えません。しかし、将来性のある子供達が新しい学舎で切磋琢磨しながら自分を見失うことなく、東小学校の伝統を受け継がれ夢と希望に満ち溢れ充実した学校生活が送れるよう期待し、閉校に際し万感胸に迫る想いを寄せてのごあいさつとさせていただきます。



東小学校の閉校に 寄せて

那須烏山市立東小学校PTA会長

小室 昭

私がこの東小学校のPTA会員となったのは、今から11年前のことでした。その時はこのように閉校について、しかもPTA会長として文章を書くことになろうとは思ってもみませんでした。

大木須小学校と小木須小学校のそれぞれの思い出と希望を背負って誕生した東小学校も、また同じように次の小学校へ希望をつなぐこととなったのです。

学校は建物だけがあっても学校になりません。地域の方々や、保護者の方々、中心には先生方や子どもたち。こういった人と人とのつながりがうまくいってこそ学校といえると思います。東小学校もこういう学校であったと自負しています。

この子どもたちを育んでくれた「学校」東小学校に、今はただ感謝するしかありません。「ありがとう、そしてさようなら」です。

さて、卒業する6年生も含めて児童のみなさんをお願いしたいことがあります。それは、東小学校で学んだ「心」をしっかりと忘れずに持ち続けていただきたいということです。

東小学校での勉強や、いろいろな行事を通じて身につけた「心」は、場所が変わってもきっと大切な宝となるでしょう。

閉校という大きな環境の変化の中でも、これに飲み込まれず、今まで学んだことを新しい小学校や中学校で生かすことが東小学校への恩返しだと思います。

時には後ろを振り返る必要もあるでしょうが、新しい環境には、前を向いて元気よく歩いていくことが大切だと思っています。そうすることで明るい未来が開けるものだと思います。

最後になりましたが、東小学校の関係各位に対して、これまでの多大なるご協力、ご尽力に感謝申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



閉校に寄せて

那須烏山市立東小学校長

長山 洋子

平成2年春、大木須小学校、小木須小学校が統合し東小学校が開校いたしました。

開校当時の写真から東小学校の歴史を振り返ってみました。

平らな山の頂に立つ白い三階建ての校舎。給食調理場が建ち、体育館が建ちプールも建設されました。数々の植木を職員やPTAのみなさんが一本一本植えている写真もありました。次第に整備されていく様子が手に取るように分かりました。

その当時の様子をお聞きし、どのような期待とご苦労があったかを知るにつけ、児童の成長のために努力を惜しまないようにしたいと考えて過ぎてまいりました。

しかし、今年度限りで東小学校の歴史を閉じることとなり、寂しさでいっぱいです。

児童が通った道はたいへん長い坂道です。桜咲く暖かい日にも、雪の日にも大雨の日にも、暑い夏の日にも、いつも元気に登校してきました。そして、その坂道を通った卒業生は229名となりました。在校した子どもたちが、東小学校で学んだことを誇りに、楽しい行事の数々を心に輝く思い出として、元気に生活していったほしいと願っています。

私たち教職員は、この東小学校に勤務し、優しい子どもたちや地域の方々に出会えたことを喜びとしております。

最後になりましたが、今日まで東小学校のためにお力添えをくださいました大勢のみなさまに深く感謝を申し上げ、閉校のあいさつといたします。



沿革の概要

- 平成 2 年 4 月 1 日 ● 烏山町立大木須小学校と烏山町立小木須小学校が統合し烏山町立東小学校として開校する。また、境地区学校給食共同調理場が併設される。
- 4 月 7 日 ● 開校式
- 4 月 26 日 ● 東小学校 PTA 発足
- 5 月 25 日 ● 地域ぐるみでたくましい子どもを育てる活動校として県より指定を受ける。
- 10 月 26 日 ● 校歌・校章制定
- 平成 3 年 2 月 20 日 ● 屋内運動場が竣工
- 2 月 28 日 ● 同落成式
- 3 月 9 日 ● 校旗を樹立
- 6 月 28 日 ● 愛鳥モデル校として県より指定を受ける。
- 平成 4 年 5 月 18 日 ● 勤労生産学習研究推進校として文部省より指定を受ける。
- 平成 5 年 4 月 12 日 ● 開校の碑除幕式
- 10 月 17 日 ● 「子ども郵便局」優良子ども銀行として大蔵大臣より表彰を受ける。
- 平成 6 年 3 月 10 日 ● プールが竣工
- 平成 7 年 4 月 1 日 ● いきいき地域ぐるみ教育活動推進事業校として県より指定を受ける。
- 平成 8 年 4 月 1 日 ● 高齢者福祉教育推進事業校として県より指定を受ける。
- 平成 9 年 8 月 17 日 ● 全日本小学生ソフトボール選手権大会関東大会女子初優勝する。
- 平成 11 年 6 月 15 日 ● 優良学校として県表彰を受ける。
- 10 月 4 日 ● 優良子ども郵便局中央表彰郵政大臣賞を受賞する。
- 10 月 16 日 ● 開校 10 周年記念式典
- 平成 13 年 4 月 1 日 ● 境地区学校給食共同調理場から東小学校共同調理場に名称変更する。
- 平成 15 年 1 月 31 日 ● 平成 14 年度学校安全優良学校表彰を日本体育・学校健康センターより受ける。
- 11 月 25 日 ● 「子ども郵便局」が日本郵政公社関東支社長より表彰を受ける。
- 平成 16 年 10 月 4 日 ● 「子ども郵便局」が日本郵政公社関東支社長より表彰を受ける。
- 平成 17 年 10 月 1 日 ● 烏山・南那須両町の合併に伴い校名を栃木県那須烏山市立東小学校とする。
- 10 月 11 日 ● 優良子ども郵便局総裁表彰を日本郵政公社総裁より受ける。
- 平成 18 年 10 月 21 日 ● 青少年赤十字加盟継続 15 年銀色有功章表彰を日本赤十字社より受ける。
- 平成 20 年 3 月 8 日 ● 閉校記念式典
- 3 月 31 日 ● 閉校

歴代校長



関谷 孝

平成 2 年 4 月～平成 4 年 3 月



檜山 秀雄

平成 4 年 4 月～平成 6 年 3 月



小原澤一夫

平成 6 年 4 月～平成 8 年 3 月



小泉 哲也

平成 8 年 4 月～平成 10 年 3 月



高田 林平

平成 10 年 4 月～平成 13 年 3 月



石川 周一

平成 13 年 4 月～平成 16 年 3 月

思い出の アルバム



平成2年度 体育館建設



平成2年度 人文字と学校全景



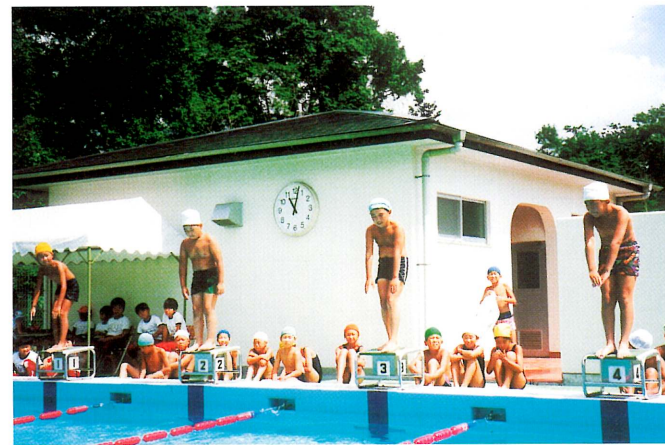
平成3年度 校門入口の植樹



平成4年度 勤労生産学習研究指定校（どろんこワールド）



平成5年度 校庭にタイヤの花壇設置



平成6年度 プール竣工



平成7年度 児童会の歌ができる

励まし合って（東小学校児童会の歌）

作詞 小原澤 一夫
作曲 村上 哲大

一 白い校舎に 広い庭
通う坂道 楽しいな
雨や嵐の日も あるけれど
学び合い 励まし合って
喜び分け合う 友がいる
希望が丘は 夢が丘

二 君と絵にかく 学校の
山も夕日も きれいだな
道につまずく日も あるけれど
助け合い 手を取り合って
悲しみこえてく 君がいる
東が丘は 夢が丘

三 あすに育てる 草花も
とりもうさぎも かわいいな
冬の厳しい日も あるけれど
信じ合い がんばり合って
進めば笑顔の 春がくる
つつしが丘は 夢が丘

平成7年度 児童会の歌

思い出の アルバム



平成8年度 学習発表会



平成9年度 ソフトボール関東大会優勝



平成10年度 地域探検ウォークラリー



平成11年度 校章取付け



平成11年度 創立10周年記念撮影



平成11年度 創立10周年記念式典での学習発表会



平成12年度 親子クッキング



平成12年度 観察用池作り

思い出の アルバム



平成13年度 収穫感謝祭でのもちつき



平成14年度 地域の方による書写特別授業



平成15年度 棚田稲刈り体験



平成15年度 東っ子デー（那須登山）



平成16年度 そば打ち体験



平成16年度 東っ子デー（戦場ヶ原ハイキング）



平成17年度 運動会（鼓笛）



平成17年度 運動会（組体操）

思い出の アルバム



平成17年度 さつまいも苗植え



平成17年度 昔遊びの会でのお手玉作り



平成17年度 七夕集会



平成18年度 安全ボランティアの方による下校指導



平成18年度 最後の子ども郵便局



平成18年度 オオムラサキの放蝶



平成19年度 PTA奉仕活動



平成19年度 スイミングスクールでの水泳指導

東小学校校歌

作詩 中山中夫
作曲 鎌多俊興

一山が光るよ小鳩が鳴くよ
風もふどりの木林のかけ
希望の瞳平和のねがい
強く正しくはつらつと
あしたに伸びよみんなのみんなの
東小学校

二冬のきびしき嵐に耐えて
開くあの花山つづ
学びの庭に心の窓に
清く明るく根をはって
あしたに咲こうみんなのみんなの
東小学校

三眺めゆたかな木須川国見
清き自然に身を鍛え
大きな夢を育ててゆこう
今日もはばたく智の翼
あしたを拓けみんなのみんなの
東小学校

星崎芳場書





那須烏山市立東小学校
閉校記念誌

ひがし

発行日／平成20年3月8日

発行／東小学校閉校準備委員会

編集／閉校準備委員会記念誌部会

印刷／(株)ダイサン印刷

